

まちづくり基本方針 めざすべき将来像の評価（市町照会（評価A～E）、「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査（H25-H29 調査比較））

	安全・安心のまちづくり	環境と共生するまちづくり	魅力と活力あるまちづくり	自立と連携のまちづくり
都市中心部	<p>○ 災害に強い都市構造となっている（評価：A） ⇒事前復興まちづくり、建築物の安全確保、緊急輸送路や避難路等の整備、震災の教訓の伝承</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時の避難所と避難方法を知っている 60.4 ↗ 62.9 災害への備えが確かなものになっている 30.0 → 29.5 <p>○ 都市全体が安心の拠点となっている（評価：A） ⇒安心した生活や活動、まちの防犯・交通システムが整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域は買い物や通院に便利だ 72.0 ↘ 66.4 県内のどこへでも便利に移動できる 67.0 → 67.7 地域の公共交通は便利だ 66.0 ↘ 64.9 治安が良く、安心して暮らせる 81.8 ↘ 77.3 	<p>○ エネルギー源の多様化・分散化が進んでいる（評価：B） ⇒地域のエネルギー利用の最適化</p> <p>〔（参考）県内で、数多くの再生可能エネルギー発電設備が設置〕</p> <p>○ 低炭素なまちづくりが進んでいる（評価：C） ⇒マンション等の省エネ化・創エネ化、電気バス等の交通ネットワーク</p> <p>〔（参考）H26 家庭部門 CO2 排出量は、H17 に比べ 3.6%増加〕</p> <p>○ 緑あふれる都市空間となっている（評価：B） ⇒緑のネットワークの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の自然環境は守られている 53.0 ↘ 46.0 自然の生き物とふれあう機会がある 43.0 ↘ 38.6 	<p>○ 歴史や生活文化が都市の魅力を高めている（評価：A） ⇒まちなみや建築物の保存・継承、地域資源が新たな産業を誘引</p> <ul style="list-style-type: none"> 自慢したい地域の「宝」（風景、産物、文化）がある 47.3 ↗ 54.5 地域のまちなみはきれいだと思う 64.1 ↗ 65.6 地域に愛着や誇りを感じる 63.1 ↗ 68.8 <p>○ 多様な都市機能の集積再編が新たな活力を生み出している（評価：B） ⇒未活用の地域資源がイノベーションの原動力、様々なレベルで働ける環境を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅前や商店街に活気が感じられる 26.6 → 25.9 商売、事業を新たに始めやすい 14.1 ↘ 9.5 年齢や性別を問わず働きやすい環境が整っている 7.2 ↗ 11.7 自分にあった職業への就職や転職がしやすい 5.9 ↗ 8.9 	<p>○ 多様な住まい方・空間による多様な交流が実現している（評価：D） ⇒コワーキングなど多様な住まい方の選択、交流施設では新たなネットワークを提供</p> <ul style="list-style-type: none"> しごとと自分の生活の両立ができている 52.3 ↗ 62.8 <p>○ 地域間の交流と連携が進んでいる（評価：B） ⇒様々な地域間交流の進展</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域をよくする活動に参加している 19.0 ↗ 35.2 <p>○ 広域的なまちづくりが進んでいる（評価：D） ⇒各都市が必要な機能を分担、先進医療施設や国際研究機関が集積</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅前や商店街に活気が感じられる 26.6 → 25.9 地域をよくする活動に参加している 19.0 ↗ 35.2
郊外住宅地	<p>○ 地域の防災・減災対策が向上している（評価：A） ⇒建築物等の耐震性確保、危険宅地の建築制限、自主防災組織や防犯組織の活発な活動</p> <p>〔（参考）一定年数経過した住宅の更新 ・住宅の更新に併せて耐震化等への対応も必要 ※入居開始が1985年以前の団地の割合 47/86=55%〕</p> <p>○ 高齢者等が安心して暮らせる環境になっている（評価：C） ⇒むら地区の更新、医療・福祉サービスの充実、生活利便サービスの充実、団地内公共交通の整備</p> <p>〔（参考）施設の老朽化・商業地の衰退への対応 ・ニュータウン内の商業施設等も老朽化が進み、更新も必要〕</p>	<p>○ 住宅・都市の低炭素化の先進地域になっている（評価：E） ⇒ゼロエネルギー住宅地の開発、スマートコミュニティの実現</p> <p>〔（参考）県企業庁潮芦屋での取組 ・エコタウン(400区画)について、エコ住宅街区、スマートハウス街区として環境に配慮したまちづくりを推進〕</p> <p>○ 自然との共生の先進地域になっている（評価：D） ⇒まちなかの緑、ビオトープの導入、地域と行政の共同による緑地化</p> <p>〔（参考）地域活力や価値を向上させるエリアマネジメントの芽生え ・コモンスペースや空き地・空き家対策など、従来の住民組織団体の取組をベースにエリアマネジメント活動へ新たな取組も必要〕</p>	<p>○ 地域内に新たなサービスや「しごと」が生まれている（評価：E） ⇒医療・介護・購買施設等が徒歩圏内に立地、住民の工夫による新しいサービスの提供</p> <p>〔（参考）生活利便施設の確保 ・NTの用途純化が、日常生活に必要な店舗、交流拠点、介護・医療施設等の立地を制限〕</p> <p>○ まちの景観や空き空間は地域により管理活用されている（評価：D） ⇒団地の文化・景観が新たな資産、景観ルールによる土地利用、住宅地の維持管理、中古住宅流通</p> <p>〔（参考）魅力のある住まいの提供、空き家の活用 ・若者世帯等に魅力ある住まいの提供が必要 ・空き家活用により景観や生活環境等の課題解決も必要〕</p>	<p>○ 多世代による多様なコミュニティが実現している（評価：D） ⇒様々なライフスタイルが可能、多世代がバランスよく居住</p> <p>〔（参考）ライフスタイルや価値観の多様化 ・共働き世帯の増加に伴う暮らしの変化 ・高齢期の新たな住まい方への提案〕</p> <p>○ 高齢者が活躍し、地域をマネジメントしている（評価：C） ⇒多様な人材が空き店舗等で様々な活動を通じて交流、住民主体の地域マネジメント</p> <p>〔（参考）地域の元気高齢者の活動促進 ・元気な高齢者は、地域の貴重な人材として期待 ・地域活動への積極的な参加が重要〕</p>
地方都市	<p>○ 周辺地域の災害対策拠点となっている（評価：B） ⇒事前復興まちづくり、建築物の耐震化や建替、災害時の支援体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時の避難所と避難方法を知っている 65.7 ↗ 68.1 災害に備えた話し合いや訓練に参加している 36.2 ↗ 39.1 災害への備えが確かなものになっている 35.3 ↗ 38.8 <p>○ 地域生活の安心の核となっている（評価：C） ⇒医療施設等の充実、ユニバーサルデザイン化、移動手段の確保、犯罪や交通安全の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 買い物や通院に便利 41.9 ↘ 39.5 高齢者にも暮らしやすい 49.5 ↘ 43.9 治安が良く、安心して暮らせる 85.7 ↘ 82.2 	<p>○ 地域エネルギーが自立している（評価：D） ⇒空き地の創エネ施設、エネルギーの効率活用や地産地消</p> <p>〔（参考）県内では、太陽光発電をはじめ、水力発電や風力発電、バイオマス発電など、数多くの再生可能エネルギー発電設備が設置〕</p> <p>○ 地域の自然や気候を生かしたまちづくりが進んでいる（評価：C） ⇒歩いて暮らせるまち、公共交通の活用、緑豊かなまち、地域木材の活用、住宅の低炭素化</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の自然環境は守られている 58.1 ↘ 48.1 住んでいる地域の公共交通は便利だ 18.2 ↘ 14.8 	<p>○ 地域の個性が発見・発信され、新たなしごとを生んでいる（評価：D） ⇒地方独特の景観保全、地域資源の保存・継承、新たなビジネスや雇用を誘引</p> <ul style="list-style-type: none"> 自慢したい地域の「宝」（風景、産物、文化）がある 48.7 → 48.5 地域のまちなみはきれいだと思う 50.5 ↗ 52.3 観光などの訪問客が増えている 18.6 ↗ 25.6 商売、事業を新たに始めやすい 14.2 ↘ 6.0 <p>○ まちなかの利便性が向上し、賑わいが生まれている（評価：E） ⇒周辺集落からの中心地、中心市街地の利便性向上、多様なライフスタイルの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅前や商店街に活気が感じられる 4.4 ↗ 5.1 買い物や通院に便利 41.9 ↘ 39.5 	<p>○ 内外の多様な人々による交流が進んでいる（評価：B） ⇒田舎暮らし愛好者等の居住・交流、地域の活動・交流の拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> 住んでいる地域のことに関心がある 68.8 ↗ 70.5 <p>○ 広域交通と地域交通の結節点となっている（評価：D） ⇒他都市への短時間移動、バス、コミュニティ交通のターミナル</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内のどこへでも便利に移動できる 33.6 ↘ 31.6 <p>○ 広域的なまちづくりが進んでいる（評価：C） ⇒広域連携による機能や人材の補完、まちなかの賑わい、広域的な祭りやイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅前や商店街に活気が感じられる 4.4 → 5.1
多自然地域の集落群	<p>○ 地域の防災減災対策が向上している（評価：D） ⇒事前復興まちづくり、危険地域建築制限、災害時の対応確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時の避難所と避難方法を知っている 65.4 ↗ 71.2 災害に備えた話し合いや訓練に参加している 38.3 ↗ 46.7 災害への備えが確かなものになっている 37.1 ↗ 40.9 <p>○ 誰もが安心して暮らしている（評価：C） ⇒日用品移動販売、地方都市へのアクセス、見守り等の仕組の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 買い物や通院に便利 37.4 ↘ 32.4 県内のどこへでも便利に移動できる 31.0 ↗ 32.9 高齢者にも暮らしやすい 49.1 ↘ 41.8 	<p>○ 都市へのエネルギーの供給源となっている（評価：D） ⇒食料・木材の自給自足、再生可能エネルギーの創出、都市への供給</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元や県内でとれた農林水産物を買っている 83.2 ↘ 79.7 <p>〔（参考）2015年に100万kwの再生可能エネルギーの導入目標達成〕</p> <p>○ 自然環境や農地が次世代へ継承されている（評価：A） ⇒森林・里山の適正管理、都会からの来訪、地域営農活動の維持・発展</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の自然環境は守られている 59.1 ↘ 46.9 自然の生き物とふれあう機会がある 54.9 ↘ 39.9 観光などの訪問客が増えている 27.9 ↗ 38.2 	<p>○ 地域の個性と豊かな住環境が大切にされている（評価：D） ⇒個性ある景観の保全、空き家の適正な管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 自慢したい地域の「宝」（風景、産物、文化）がある 50.5 ↗ 55.1 地域のまちなみはきれいだと思う 48.9 ↗ 53.1 <p>○ 地域資源が新たな地域の魅力やしごとを生んでいる（評価：C） ⇒田舎暮らしの基盤整備が充実、古民家等の活用、ICT等を活かした生活サービス、交流サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 商売、事業を新たに始めやすい 14.1 ↘ 5.9 企業に活気が感じられる 11.5 ↗ 14.2 観光などの訪問客が増えている 27.9 ↗ 38.2 自分に合った職業への就職や転職がしやすい 4.9 → 4.7 	<p>○ 地域への愛着が次世代へのつながりと新たな担い手を育てている（評価：E） ⇒祭りや伝統の継承、村ビジョンの策定、都市住民と地域住民との活発な交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 住んでいる地域のことに関心がある 71.2 → 71.4 住んでいる地域に安着や誇りを感じる 60.7 ↗ 68.4 地域をよくするための活動に参加している 40.0 ↗ 43.4 <p>○ 村移りなどにより集落の暮らしが維持されている（評価：D） ⇒近隣集落等への移住による集落機能の維持、定住者や来訪者等の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者にも暮らしやすい 49.1 ↘ 41.8 しごとと自分の生活の両立ができている 55.6 ↗ 70.0 年齢や性別を問わず働きやすい環境が整っている 8.2 ↘ 6.1

※ 評価：市町による自己評価について、最も進んだと受け止めた物を「A」、ほとんどかわらないものを「E」として、5段階で進捗度合いを区分したものを。